

聖徳大学言語文化研究所主催

英米文学の名作を読むV

会場 聖徳大学10号館 12階

千葉県松戸市松戸1169
JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

定員 70名 (事前申込不要)

研究発表会

- 日時** 平成28年**2月20日(土)** 13:00~15:00
司会 北村 弘明 (聖徳大学言語文化研究所教授)
発表者 藤井 繁 (聖徳大学名誉教授)
演題 E. ヘミングウェイの文学—神話の崩壊「キリマンジャロの雪」(1936)を中心に—
- 日時** 平成28年**2月27日(土)** 13:00~15:00
司会 原 公章 (元日本大学教授)
発表者 宮内 泰彦 (元聖徳大学兼任講師)
演題 アイリス・マードック『鐘』の倫理性—蝶のように漂うドーラの生の軌跡—

参加費
無料

シンポジウム

- 日時** 平成28年**3月5日(土)** 13:00~15:00
司会 深沢 俊雄 (元聖徳大学文学部文学科教授)
発題者 天野 暁子 (聖徳大学兼任講師) チャールズ・ディケンズ『ディビッド・コパーフィールド』—子どもへの視点—
武田 久子 (聖徳大学兼任講師) D. H. ロレンス『恋する女たち』—レルケの存在の必然性—
井村 猛 (聖徳大学兼任講師) 時事英語—現代英語の新語—
- 日時** 平成28年**3月19日(土)** 13:00~15:00
司会 藤井 繁 (聖徳大学名誉教授)
発題者 小山 努 (聖徳大学兼任講師) トマス・ハーディ『森林地の人々』—ジャイルズ・ウィンタボーンの利他主義を巡って—
山下 登子 (聖徳大学兼任講師) トマス・ハーディ『日陰者ジュード』再考—ジュードの苦悩—
富永 久子 (聖徳大学兼任講師) トマス・ハーディ『らっぱ隊長』—「愛のはかなさ」—

お問い合わせ ▶▶▶

聖徳大学言語文化研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話: 047-365-1111 (大代表)

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

